



東泉丘小学校だより

令和8年（2026年）6月25日発行



学習支援ボランティア

今年度も、市実施の地域連携ステーション事業の一環として、学習支援ボランティアを実施しております。昨年度は、多くの地域の方々や保護者の皆様に授業に入っていただき、多大なるご支援を賜りました。

今年度は、これまでに6年生の「調理実習」、5年生の「ソーイング」、2年生の「まちたんけん」、各学年「読み聞かせ」において、実施・実施予定です。

学習支援ボランティアは、地域の方々から募集しておりますが、人数確保のため、保護者の皆様に参加をお願いする場合もございます。ご協力いただく際には、学習支援ボランティアのマニュアルをご確認いただき、ルールを遵守していただいております。

なお、学習支援ボランティアのマニュアルはコドモンの資料室に掲載しておりますので、一度ご確認ください。



地震・火災避難訓練（6/10）不審者対応避難訓練（6/16）

天候不良による延期があり、2週連続での避難訓練の実施となりました。

地震・火災避難訓練後の校長の話では、昨年度に実施したアンケート「地震や火事の際、また不審者に出会った際に、どのように行動すればよいか分かっている」の結果を紹介しました。低学年では91%、高学年では98%の児童が肯定的に回答しており、多くの子どもたちが「どうすればよいか分かっている」と答えていることは、とても素晴らしいことです。

しかし、「分かっている」ということは、単に知識として知っているだけでなく、実際に行動できることであるという点についても考えてもらいました。事前の指導で「お・は・し・も・て」が大切であることは誰もが理解していますが、今回の訓練でその行動がすべてできていたでしょうか。話をしてしまっていた人はいなかったでしょうか。

不審者対応避難訓練においては、教室やトイレなどの内側からかぎをかけて侵入や被害を防ぐことや、運動場では建物の裏に隠れるなど、自分の身を守る行動を落ち着いて取ること、そして指示をよく聞いて行動することの大切さを確認しました。最後に、入校証のない人を校内で見かけたら、近くの職員に知らせるように指導しました。職員の役割分担や動きなどの反省も行いました。

災害時には、自分の命、そして友だちの命を守るのは「知識」と「行動」です。これからも、行動が伴った本当の意味での「分かっている」を目指していきたいと思います。

校内研究「確かな学力育成モデル校」

昨年度の「ICT活用によるこども主体の学び」に続き、今年度は「確かな学力育成モデル校」として市より選定を受け、校内研究を進めています。

子どもたちが自分で考え、自分で学びを進めていく力（自己調整・自己決定して学ぶ力）を育てることをめざし、授業のあり方を研究しています。ICT機器のよさを生かし、一人ひとりが学びの方向や方法を選び、学習と振り返りを繰り返す中で、よりよく学びを進めていく力の育成をめざしています。

ICT機器には、自分の考えを見える形にして整理したり、友だちと共有したりすることで、互いの考えをもとに学びを深めていけるという利点があります。さらに、個に応じた支援や振り返りにも活用し、自分の学びを見つめ直し、次の学びへとつなげていくこともできます。

今年度の取り組みは、次期学習指導要領を見据えた授業改善の一つでもあり、これまで大切にしてきた一斉指導などの授業のよさも大切にしながら、ICTを活用した新しい学びの形もバランスよく取り入れ、子どもたちの学びをより豊かなものにしていきます。